



平成30年度 路網整備推進技術者育成 研修の概要(ICT研修)

1. 研修日程:平成30年12月3日～12月7日
2. 研修会場:ホテルサン人吉(熊本県人吉市)
3. 現地実習:人吉市大畑国有林74ち林小班外
4. 参加者:19名(内訳) 県職員 8名
林業事業体職員3名
国有林職員 8名

研修目標

林業の成長産業化の実現に向けて、利用期を迎えた森林資源の循環利用を促進し、原木の安定供給体制の構築等を図るために、素材生産の効率化と合わせて、伐採跡地の再造林や保育等を低コストで実現する生産システムを念頭においた路網整備等を行うことができる人材を育成します。

10年間の間伐計画及び路網整備計画を含む総合的な森林整備の構想策定を通じて、市町村森林整備計画における木材生産を中心とした団地の中・長期的な森林・林業の経営ビジョンを構築する能力を高める。
コミュニケーションやプレゼンテーションに係るスキルを向上させ、合意形成のための効果的なプレゼンテーションと建設的な議論を行う能力の向上を図る。

QGISを用いた資源把握演習。講師は宮崎大学櫻井先生



路網設計支援ソフト(FRD)の演習



路網設計の基礎となる「森づくり構想」の現地演習
講師宮崎大学光田先生



FRDにより設計した路網計画の現地調査を行い、開設困難箇所を確認。



現地踏査を踏まえ、路網の修正や販売戦略を検討し、森林所有者に対してプレゼンを行う。



プレゼンテーション能力の向上を目指して検討内容をスライドにして各班毎に発表。



地元振興局職員等の皆さんを招いて、プレゼンに対する質問、ご意見等もいただきました。

